

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成26年10月9日 (2014.10.9)

【公表番号】特表2013-541367(P2013-541367A)
【公表日】平成25年11月14日 (2013.11.14)
【年通号数】公開・登録公報2013-062
【出願番号】特願2013-529156(P2013-529156)
【国際特許分類】

A 6 1 F 2/915 (2013.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/915

A 6 1 L 31/00 P

【手続補正書】
【提出日】平成26年8月25日 (2014.8.25)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

血管の患部を治療するためのステントであって
支材のパターンから構成される生体吸収性の高分子足場を含み、前記パターンは支材の第 1 の円筒状の環と支材の第 2 の円筒状の環を含み、
前記第 1 の環と前記第 2 の環が一揃いの破砕性連結支材によって接続され、
各破砕性連結支材が環の間で配置される 2 つの円板様の形体を有し、
前記円板様の形体がその湾曲した面で接続されて接続点でノッチを形成し、
患者の血管にステントを配置した後、円筒状の環における支材に先立って、各連結が接続点にて壊れるステント。

【請求項 2】

少なくとも 1 つの前記破砕性連結支材の接続された円板様の形体が各円板様の形体を介して穴を含み、ドーナツ様の構造を形成する請求項 1 に記載のステント。

【請求項 3】

少なくとも 1 つの前記破砕性連結支材の接続された円板様の形体が円状である請求項 1 に記載のステント。

【請求項 4】

少なくとも 1 つの前記破砕性連結支材の接続された円板様の形体が、その長径に沿った面で接続される扁球円板である請求項 1 に記載のステント。

【請求項 5】

前記円板様の形体の円筒状の軸が、反管腔側の面に対して垂直である請求項 1 に記載のステント。